

## ザ・ネットワーク／NO. 4

## 72時間ネットワーク

72 Hours Network of Japan

## 代表の鎌田裕十郎氏にインタビュー!!

## ★72時間ネットワークとは?

国内で災害が起きた時に、NGOやボランティア団体が効果的に円滑な救援活動を行うことを目的とした全国ネットワーク組織です。阪神大震災での救援活動をきっかけに、AMDA、カンボジアのこどもに学校をつくる会、松下政経塾、立正佼成会の4団体が運営団体となり昨年10月に発足しました。



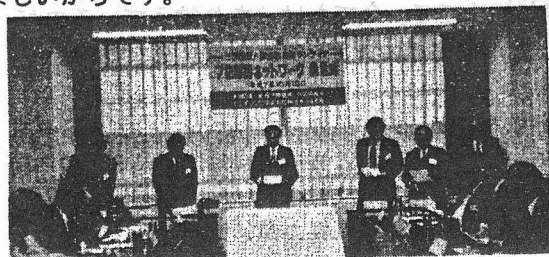
阪神大震災の被災地で診療を行った鎌田氏

## ★阪神大震災での救援活動で何を感じましたか?

混乱の中で、駆けつけたボランティアが仕事を求めて待機している一方で、人手が足りず救援活動が進まない団体もありました。実際、医師や看護婦も機の設置や水の確保に追われ、医療活動に専念できませんでした。救援物資についても、連絡がつかないために逼らせているように思います。効率的な活動を行うには、各NGOやボランティアの日頃のネットワークが必要不可欠だと感じたのです。

## ★なぜ72時間なのですか?

緊急救援活動の経験から被災者の状況を察すると、医学的な処置と水や食料等の供給との双方について、少なくとも72時間以内に開始する必要があるからです。また、緊急事態発生後、行政機関の機能がほぼ停止している72時間以内に、民間団体が効果的に活動することが望ましいからです。



昨年10月16日に行われた72時間ネットワーク発足式

## ★どのように救援活動を行うのでしょうか?

災害発生後、各加入団体が独自に出動を決めます。最も早く被災地に到着した団体が現地本部を設置し、無線システムや、後続団体との連絡網を確保すると共に、現地情報を収集し伝達します。被災地の団体や後続団体は、速やかに現地本部に合流し、各団体の得意分野を生かした救援活動を展開します。医療活動についてはAMDAが被災地での緊急医療を担当し、日本医師会の応援の下、全日本病院協会の後方支援病院と連携をとりつつ救援活動を行います。

## ★どの時点で救援活動を終えるのでしょうか?

災害発生から概ね2週間で活動を終了します。ただし、状況が許す限り各団体が独自に撤退の時期を判断します。現地本部の撤収は、行政機能の回復状況や被災地の状況に応じて、運営委員会が決定します。

## ★平常は、何をしていますのですか?

緊急事態を想定した活動計画作りや行政等関係諸団体との意見・情報交換をはじめ、各構成団体の連絡会議や訓練を行い、緊急事態に備えます。また、地域単位で自律的な活動ができるように、地域組織のネットワーク強化に力を入れています。

## ★昨年12月に第1回訓練を行ったそうですが……?

瓦礫を取り除くほかトイレの穴を掘るのにも利用できるパワーショベルを積んだトレーラーを現場に送ったり、シャワーを短時間で設営するなどしました。現場の状況やデジタルカメラで撮影した現場写真を、パソコンから携帯電話を通じて本部に送り、インターネットに掲載しましたが、通信機器が作動しなかったり、計画通りには連絡がつかないなど解決すべき多くの課題が見つかりました。現在は、それらの問題解決に取り組んでいます。

## ★72時間ネットワークの今後のご予定は?

平成8年度より、日本青年会議所など他団体も新たに参加し、ネットワークの拡充を図ります。各団体を統合するのではなく、各団体が連携をとりつつ効率良く活動できるような環境作りをしていきたい。それにしても、活動資金が欲しいと切実に感じています。

## アクセス・データ

〒125 東京都葛飾区金町3-32-11 鎌田医院 2F

TEL 03-5699-7200 FAX 03-3609-7331

E-Mailアドレス doctor-k@aqu.bekkoame.or.jp